



野底小学校だより  
令和7年12月

# 野小っ子



〔連絡先〕  
住所：石垣市字野底138番地  
TEL：0980-89-2144  
FAX：0980-89-2079  
Email:nosoko-s@ishigaki.ed.jp



## 「振り返り」で自分らしさを磨こう！

いよいよ今年も残すところあと1ヶ月となりました。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解と温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、この12月という時期は、新しい年を迎える準備をするだけでなく、この1年間をじっくりと「振り返る」大切な機会だと考えています。なぜ「振り返り」が大切なのでしょう？学校では、子供たちが様々な活動や学習を通して成長できるように日々指導を重ねています。その成長を確かなものにするために、本校では特に「振り返り」を大切にしています。「振り返り」とは、ただ「何をしたか」を思い出すことではありません。「あの時、どう考えたかな？」「あのやり方はなぜうまくいったんだろう？」「次はもっとどうすればよくなりそうかな？」と、自分の考え方や行動そのものに意識を向けることです。これを教育では「メタ認知」と呼び、「自分のことを客観的に見る力」を意味します。この力が育つと、子供たちは、ただ教えられるだけでなく、自分で「より良く学ぶ方法」を見つけられるようになります。自分で自分の学習をコントロールできる、自立した学習者へと成長するのです。

本校が学校経営の重点の一つとしているのは、「一人一人の『自分らしさのよさ』を発揮できる子供の育成」です。振り返りの時間を持つことは、この目標に繋がっています。頑張ったことや挑戦したことを振り返ることで、「私はこういう時に力を発揮できるんだ！」という自分の強みを発見できます。逆に、苦手なことや失敗した経験を振り返ることで、「こういう所はちょっと苦手だけど、こんな工夫をすればいいんだ」と、自分の個性を受け入れ、克服するための知恵を身につけます。自分を知る、これこそが「自分らしさ」の土台です。自分を深く理解し、受け入れることで、自信をもって堂々と自分の良さを発揮できる子供に育っていくと考えています。

ご家庭でも、ぜひ、この1年間を振り返る時間を作ってみてください。難しい問いかけは必要ありません。「今年の運動会で、一番頑張ったのはどの練習の時？」「クラスのお友達と協力した時、〇〇はどんな役割をしたの？」「〇年生になって、新しくできるようになったことは何かな？」こんな会話の積み重ねが、子供にとって1年間の経験を、未来につなげる大切な時間となります。

## みんなちがって、みんないい！

今月の12月の人権目標です。詩人 金子みすゞさんの詩『私と小鳥とすすと』の一節です。この言葉は、私達一人一人が持つ個性と多様性の素晴らしさを教えてくれます。人間は、能力、性格、考え方、見た目など、すべてが異なります。違いがあるからこそ、私たちは互いに助け合い、新しい視点を得て、社会を豊かにすることができます。違いは欠点ではなく、価値です。多様性を認め合う心こそが、誰もが安心して輝ける社会を築く第一歩となります。

## 12月の行事

- 1日(月) 学習発表会振替休日
- 2日(火) 人権を考える日 火災避難訓練
- 3日(水) 児童朝会 赤い羽根募金贈呈式委員会
- 5日(金) クラブ
- 9日(火) ※水曜日の時間割
- 10日(水) 校長講話 ※火曜日の時間割
- 11日(木) 学校テスト(国・算)
- 12日(金) 開校記念集会 薬物乱用防止教室
- 18日(木) 個人面談①
- 19日(金) 個人面談②
- 22日(月) 全校清掃
- 23日(火) 読み聞かせ
- 24日(水) 表彰朝会
- 25日(木) 2学期終業式(5校時授業)

冬休み：26日(金)～1月5日(月)

1月6日(火) 3学期始業式  
※5校時授業



## 【11月の野底っ子の学びの様子】

保護者、地域の皆さん、本校学習発表会にご来校いただき、ありがとうございました。

「28人一人一人が主人公 輝く笑顔が実る 楽しさあふれる最高のステージを作り出せ」をスローガンに掲げ、子供たちは、この日のために一生懸命準備し、練習を重ねてきました。本番では、一人一人が練習の成果を存分に発揮し、輝かしい姿「〇〇らしさ」と「成長」を見せてくれました。大きな舞台上で堂々と発表する姿は、本当に素晴らしかったです。

温かい拍手や励ましの言葉は、子供たちの大きな自信となりました。参加者皆さんのご理解とご協力のおかげで、子供たちも大満足の発表会を成し遂げることができました。ありがとうございました。



1, 2年生による「はじまりのうた」で学習発表会が開幕。3年以上も観客を囲んでの歌声で会場を盛り上げました。



大きな歌声、体を大きく使った表現。子供たち自身が学習発表会を楽しんでいました。



参加型の園児によるクイズ。園生活で発見したことをクイズにして観客と学びを共有しました。



のそこ版「スイミー」。ウミショウブの広がる海で、小魚のスイミー達が力を合わせて大魚をやっつけるストーリー。



「稲作」体験学習をプレゼンにまとめ発表。収穫量が少なかったという苦い経験から現在、土壌改良の対策へ。



将来になりたいものに変身！宇宙飛行士、アイドル、バイクレース、キャラクターと手作りの衣装で登場！



ウミショウブ保全活動からの学びをプレゼンで発表。水槽の状態の悪化、保全域の柵の破損によるウミガメの侵入。「どうしよう？」課題を乗り越えながらの子供たちの学びはさらに深まります。



オヤケアカハチの「道標」。難しい振り付けもしっかり覚え、2人で元気よく、力強く表現。



のそこ幼稚園  
47年間



「28名の少ない人数ですが、みんなで力を合わせれば何でもできる！」（児童最後のあいさつ）これからの成長が楽しみです。

今年度の「学習発表会」では、これまでの「学びの足跡（成果）」と「学びの可能性（課題と対策）」「学びのつながり」を念頭に発表内容を工夫して取り組んできました。引き続き、「みんなで創る学校」を念頭に本校園の教育活動へのご理解とご協力をお願いします。



子供たちの作品、学校の取り組みを「学びの足跡」として展示。参加者は、熱心に閲覧していました。